

KANAZAWA
UNIVERSITY

平成23年度(2011年度)

金沢大学

入学者選抜
に関する要項



目 次

1	入学者受入方針	1
2	募集人員	6
3	入学者選抜方法等	
1	一般入試，専門高校・総合学科卒業生入試	8
2	推薦入試，帰国子女入試，アドミッション・オフィス入試（AO入試）	10
4	一般入試	
1	実施日程	11
2	出願資格	12
3	入学者選抜の実施教科・科目等	13
5	推薦入試	
1	推薦入試（大学入試センター試験を課さない）	18
2	推薦入試（大学入試センター試験を課す）	30
6	帰国子女入試	37
7	アドミッション・オフィス入試（AO入試）	40
8	私費外国人留学生入試	42
9	障害のある者等の出願	44
山	学生募集要項の請求方法等	
1	学生募集要項の請求方法	44
2	学生募集要項の発表・配付予定時期	45
3	問い合わせ先	45
4	金沢大学所在地略図	47

1 入学者受入方針

《人間社会学域》

【人文学類】

人文学類では、広範な人間の行動・思考・創造と、その蓄積としての思想・歴史・文化、あるいはそれらすべてに関わる言語等を学問的に取り扱い、これら諸学問の専門知識を有し、総合的・学際的視野を持った人材の養成を目指します。例えば、情報処理能力と柔軟な思考力をもって組織をリードできる人、社会調査・フィールドワークを企画・実施する能力を有する人、外国語コミュニケーション能力を有し国際的に活動できる人など、学術上の基礎訓練を活かし活躍できる人材の養成を目標とします。

推薦入試以外の学生については、2年進級時に15の専門分野のうちから、各自が所属する専門分野を決定します。その際、本人の希望、学業成績等を考慮します。

求める人材

- ・人間の行動や思想に積極的な関心を持ち、人間探求に挑もうとする人
- ・社会や文化に関する課題を発見し探求する能力を高めた人
- ・個性的な発想や観察眼・思考方法の能力を伸ばしたい人
- ・フィールドワークに興味を持ち、調査方法・情報整理能力を身につけたい人
- ・外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力を高めた人

【法学類】

法学類は本学独自の「学類」という名称を冠していますが、学べる内容は他大学の法学部と同じです。起源は1949年に創設された法文学部法学科であり、1980年には法学部へ改組し、また2008年には現在の法学類となりました。この間、国内外の社会状況は大きく変化し、また、今後も常に変化しつづけることが予想される中で、個々人が他者と共生していくために必要である法と政治に関する基本的な理念や知識は昔も今も不変であり、そして将来も不変でありつづけることでしょう。このような認識の下、法学類では、法学・政治学を体系的に学ぶことを基本としつつ、さらに、現代社会の課題を発見し解決するためには欠かすことのできない、他者に対する共感力と、問題解決のための創造力を養うことを目標としています。

法学類生の主要な進路は官公署・企業・大学院です。そのため、法学類では、希望進路に対応する、公共法政策・企業関係法・総合法学という3つのコースを設けています。各コースへの所属は3年進級時に決定します。その際、総合法学コースを志望するためには、2年前期までの成績が一定基準以上であることを条件とし、さらに志望者多数の場合は面

接等に基づく選考を行います。他の2コースは希望通りの所属となります。

求める人材

- ・大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えている人
- ・社会問題に関心を持ち、よりよい社会実現のために貢献したいと願っている人
- ・論理的思考や情報分析を通じて、また、過去の歴史的経緯をふまえて、社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

【経済学類】

経済学類では、現代社会において国、国の中の地域、国を越えた各地域で起きている様々な問題に、①経済理論に基づく解釈と政策的解決策の検討、②経営・会計・情報の観点からの企業活動の分析、③世界各地の経済と社会の比較考察という三つの経済学的アプローチから迫ります。そのためには経済学を体系だてて学ぶことと同時に、その一部を深く専門的に学ぶことが必要であり、経済学類は、そのどちらも満たすカリキュラムを提供することによって、現代の様々な問題に的確かつ迅速に対処することができる専門的知識を持った人材の養成を目標とします。

経済学類には、経済理論・経済政策コース、経営・情報コース、比較社会経済コースがあります。各コースへの所属は、2年進級時に本人の希望、適性、成績等を考慮の上決定します。

求める人材

- ・経済理論を基礎としながら、現代社会の諸問題の分析と解決に挑みたい人
- ・国や地域社会の仕事に携わるために必要な専門的知識を身に付けたい人
- ・即戦力として、あるいは起業家として、ビジネス界で活躍したいと考えている人
- ・日々の国際的な出来事や企業の動きに鋭敏にアンテナを張り巡らせている人

【学校教育学類】

「空洞化」した学びを立て直していくには、教師に教科等に関する専門的な知識や技能及びそれらを教授する能力に加え、グローバルな視野に立って考え行動する市民的教養と行動力が求められます。また、様々なトラブルをかかえた子どもたちと向き合うためには、子どもたちに共感し、子どもたちの世界を読み開く能力も求められます。学校教育学類は、こうした力量を持った義務教育段階の諸学校の教師を組織的、計画的に養成することを主たる目標にしており、専門職としての教師への熱意にあふれた人材を求めます。

学校教育学類には、教育科学コースと教科教育学コースのもと、教育基礎、特別支援教育、国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、家政教育、英語教育の11の専修があります。各専修への所属は、推薦入試以外の学生については、2年進級時に本人の希望、適性等を総合的に考慮したうえで決定します。

求める人材

- ・専門職としての教師への熱意が旺盛である人
- ・社会、自然、人間、文化、教育について深い関心を持っている人
- ・自分の見解を表明できると同時に、他者の見解や感情を理解することができる人
- ・人類的課題に地域や学校で取り組んでみたい人

【地域創造学類】

地域創造学類は、それぞれの地域が持つ自然的・文化的資源、伝統、人材、資金、社会関係などを総合的に活用し、自治を活かした地域固有のスタイルで住民の福祉・文化・産業・環境を発展させ、質の高い個性ある地域生活を計画・設計・政策立案し、地域づくりのリーダーとして活動できる能力を持つ人材を育てることを教育理念・目標としています。

地域創造学類には福祉マネジメント、環境共生、地域プランニング、健康スポーツの4つのコースがあります。各コースへの所属は、推薦入試以外の学生については、2年進級時に本人の希望、適性、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・地域の歴史・文化・環境・経済・生活に積極的な関心を持っている人
- ・個性ある地域を創造していくことに強い意欲を持っている人
- ・地域との具体的な関わりの中で、福祉・環境・文化・健康スポーツを中心に学びたい人
- ・地域における豊かな暮らしの創出に取り組む職業に就くことを希望する人

【国際学類】

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外のNPO、NGOで経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感能力、外国語をはじめとする国際コミュニケーション能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際社会、日本・日本語教育、アジア、米英、ヨーロッパの5つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、適性、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・他文化や他民族、及び国際社会における諸問題に積極的な興味を持つ人
- ・自国文化のアイデンティティを常に問い続ける、探究

心あふれる人

- ・英語や国際的に重要な他の外国語の実践的な運用能力を高めるために、努力を惜しまない人
- ・探究心とコミュニケーション能力を用いて、外国人と諸問題を粘り強く話し合い、相互理解と交渉妥結に達しようとする人
- ・将来の人生設計において、外国地域への進出など国際的な活動への従事を目指す人

《理工学域》

【数物科学類】

数学、物理学は現代のあらゆる科学、特に自然科学の基礎をなす学問として重要な位置を占めています。数学、物理学は個々の学問として発展してきたと同時に、互いに刺激しながら発展してきました。また、計算機シミュレーションという新しい研究手段の導入によって、これまで困難とされていた複雑な自然現象の理解にも大きな進展をもたらしています。数物科学類は、このように21世紀の科学として発展を遂げつつある新しい数学、物理学の魅力を学び、その発展に寄与できる人材を育成します。

数物科学類には数学、物理学及び計算科学の3つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望により決定します。

求める人材

- ・高等学校までの基礎学力と数学的能力を向上させたいという意欲を持つ人
- ・物理学の好きな人で積極的に取組みたい人
- ・数学や物理学などの理科系科目が好きで、コンピュータシミュレーションに興味のある人

【物質化学類】

化学は自然界で起こる様々な現象の原子・分子レベルでの理解から、21世紀に必要とされる環境に適合した新しい機能性物質の創製、さらに日常生活を支える様々な化学製品の開発と製造過程に至るまでの幅広い領域を含んでいます。物質化学類では、化学を通じて人類が自然と共生しながら持続的に豊かに生きるための科学・科学技術・文化の発展と充実に貢献することができる人材の育成を目標としており、“独自に考える力”と“未知の分野に対する強い探究心とチャレンジ精神”の旺盛な人の入学を期待します。

物質化学類には化学と応用化学の2つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・自然現象の観察と実験に強い興味を持ち、実験を通して創造的に自然に関わりたい人
- ・独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち、発見の感動を味わいたい人
- ・研究を通して得た成果を社会や自然界へ応用することに意欲がある人

【機械工学類】

本学類では、技術革新の基盤となる機械工学の技術者・研究者として、モノづくり工学の社会的使命と責任を果たし広く活躍する人材を育成します。そのために、技術の革新的な進歩に貢献する能力と、技術と人間社会との調和を図る素養の修得を目的とした、工学のみならず、数学・物理学の基礎から、機械工学の先端的な分野、技術をとりまく社会・環境に関する分野までの研究・教育を行います。本学類は、機械の高度化、知能化、超精密化を目指す、ロボティクス、航空宇宙工学、ナノテクノロジーなどの未知の領域に挑む先進的な機械工学分野や、医療福祉機器、生活支援機器、新エネルギーの開発や環境保全を目指す、人と自然に優しい機械工学分野に興味がある人材の入学を期待します。

機械工学類には機械システム、知能機械、人間機械及びエネルギー環境の4つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・先端機械工学への興味、モノづくりへの熱意、人間支援に対する高い志を持つ人
- ・地球環境への関心が高くグローバルな視野と外国語能力の向上に意欲を持つ人
- ・独創性と創造性が豊かで自ら問題点を解決する意欲を持つ人

【電子情報学類】

電子情報学類が対象とする分野は、大小様々な機器の動作に不可欠なエネルギー・制御・半導体・集積回路技術、情報産業のインフラであるコンピュータ・通信技術、バイオと情報通信技術（ICT）の融合した生命情報からなり、相互に強く関連しながら発展している分野です。電子情報学類では、地球的視点や技術者としての倫理観を持ちながら、当該分野における新分野開拓に強い意欲と能力を有し、個性の輝く自立した電気・電子・情報・通信・生命情報工学技術者の養成を目標としています。

電子情報学類には電気電子、情報システム及び生命情報の3つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・数学が得意な人、積極的に物理学、数学、生物学の応用に取組みたい人
- ・科学実験やコンピュータに関心があり、科学技術の課題を見つけて創意工夫をしたい人
- ・コンピュータのハードウェア・ソフトウェアを学び、高度情報化社会に貢献したい人
- ・エネルギー、エレクトロニクス、通信、ICT技術を身につけて国内外の幅広い分野で活躍したい人

【環境デザイン学類】

私たちの生活には、地球環境から生活環境までの安全・安心な環境や豊かな暮らしを支える道路・橋梁・堤防などの社会基盤が不可欠です。環境デザイン学類では、地球環境だけ

でなく、生活環境や社会基盤の整備などを含めた広い意味で（私たちの暮らしのための）「環境」というものを捉え、「環境」について総合的・実践的に教育・研究を行います。

環境デザイン学類には土木建設、環境・防災及び都市デザインの3つのコースがあります。各コースへの所属は3年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材は、地球環境から生活環境までの様々な自然・人間・社会環境に対する調査や分析と共に、それらに配慮した国土創造、安全・安心な社会基盤や都市のデザインに興味があり、かつ、次のような特性を有する、意欲のある人です。

求める人材

- ・理数系科目はもとより、人文社会系科目にも興味のある、オールラウンドな実力のある人
- ・地域貢献や社会正義について大いに関心のある人
- ・環境問題をはじめとする社会の動きにいつも関心のある人
- ・創意工夫をすることの好きな人

【自然システム学類】

生物・人間・物質・地球で形成されるシステムを自然システムとして捉え、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につける教育を行い、生物学、バイオ工学、物質工学、環境科学、地球科学の総合的観点から、このシステムの基本を迫る研究者、その成果を人々の豊かな生活の実現に応用できる技術者、これらの知識の普及や人材育成に貢献できる教育者を養成します。自然システム学類では、科学的探究心に富み、これらの分野の専門知識を生かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待します。

自然システム学類には生物学、バイオ工学、物質循環工学及び地球学の4つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・理科系科目が好きで、実験や調査などに興味があり学習意欲がある人
- ・自然科学に興味を持ち、探究心、独創性、創造性豊かな人
- ・地球・生物・物質科学・物質工学の分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- ・環境・バイオサイエンス・材料分野で活躍したい人
- ・グローバルな視点を持ち、世界的に活躍したい人

《医薬保健学域》

【医学類】

医学類は、従来の医学部医学科に相当し、卒業者には医師国家試験の受験資格が与えられ、合格することによって医師として登録されます。医学類の教育理念は、「人間性を重視し、かつ高度で総合的な能力を有する医療人・医学者の育成を図ることにより、国民の医療、健康、福祉に貢献する」ことです。そのために、「幅広い教養、豊かな感性と人間性への深い洞察力を持ち、コミュニケーション能力を備え、患者中心の全人的医療ができる医師と医学者」を育てることを教育目

標とします。また、国民の多様かつ高度な医療ニーズに応えていくためにも「明確な目的意識、強い使命感、高い倫理観と協調性」を備えた人材を求めます。

求める人材

- ・高度専門職業人としての医師、研究心を持った医療人を指す人
- ・医学研究者を目指す人
- ・厚生医官、法務医官、自治体、保健所など医療行政の分野で活躍したい人
- ・世界保健機構などで医学医療の分野で国際貢献したい人
- ・医薬開発、医療器械開発、バイオ技術開発などのビジネス領域で活躍したい人

【薬学類】

薬学類は、薬学における基礎的な知識・技術の修得はもとより、薬学が人間の生命に関わる学問であることを踏まえ、豊かな人間性・高い倫理観と幅広い教養の上に、医療及び産業分野での専門的職業人としての高度な薬剤師の養成を図ることを主目的としています。また、卒業後、博士課程（4年制）に進学してより高度な医療薬学研究者となる人も養成します。

求める人材

- ・豊かな人間性と高い倫理観を持ち、高度な薬剤師となる素養を持つ人

薬学類と創薬科学類の両学類の選抜は一括で実施し、各学類への所属は3年次前期終了時に本人の意向、適性、学業成績等を考慮のうえ決定します。

【創薬科学類】

創薬科学類は、知的集約産業である製薬企業等において創薬研究開発・医療情報提供に携わる人や創薬分野における大学の研究者及び国公立行政府において衛生行政等に携わることのできる人等多様な人材の養成を図ることを目的とします。創薬科学類は研究者養成を主たる目的としているので、卒業後は、大学院博士前期課程（2年間）、さらには博士後期課程（3年間）へと進学することを勧めます。

求める人材

- ・自然科学に対する研究心旺盛な人

薬学類と創薬科学類の両学類の選抜は一括で実施し、各学類への所属は3年次前期終了時に本人の意向、適性、学業成績等を考慮のうえ決定します。

【保健学類】

保健学類は、「保健・医療・福祉における科学的な知識・理論・技術の修得と課題探求能力を養成し、豊かな教養と人間性を備えた高度専門医療人と保健学研究者を育成し、国民の医療・福祉の発展に寄与すること」を基本理念とします。教育目標は、1) 現代社会の抱える諸問題を総合的に洞察できる能力の育成、2) 日本語・外国語による討議・発表能力の育成、3) 保健学における基礎的知識と専門的知識・技術の修得、4) 保健学の知識・技術を活用した課題探求能力の育成、5) 豊かな人間性と高い専門職業人としての倫理観な

ど医療人としての社会的使命感の涵養、6) 学際的保健学知識の統合による教育・研究能力の育成であります。

保健学類では、国家試験受験資格の取得のためのカリキュラム編成が行われており、このため募集単位は看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の5専攻を設けます。

①看護学専攻

看護科学は、人間の誕生から死までを包括的に捉え、環境に適応しながら健康に生活することを支援する学問です。看護学専攻では、健康に関わる知識と技術を体系的に学習します。さらに、学内及び学外の医療、保健関係現場での実習を通じて、高い倫理観、専門職としての使命感、医療チームの一員としての責任を学びます。また、研究やゼミを通し、将来の医療科学を担う者として幅広い科学的知識、問題解決方法などを学び、将来の進歩や変化に対応するための能力を養うと同時に、指導者、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、看護師、保健師の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

- ・看護の専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の健康、医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
- ・保健の分野で、新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・看護学及び看護の進歩のために、将来のリーダーとなる夢を持つ人

②放射線技術科学専攻

診療放射線技師として保健医療を支える有能で意欲のある人材を育成することを目標とします。放射線技術科学専攻では、放射線、磁気や超音波を使用した医療機器の原理や特性、情報処理技術、各種の医療画像形成法、人体の形態、機能並びに医薬品に対する生物学的特性など広範囲の学問を修め、高度な医療や放射線機器の進歩に対応できる能力を養います。また、放射線を含む量子医療技術について基礎から臨床まで幅広い教育研究を行います。卒業時には、診療放射線技師の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

- ・診療放射線技師として保健医療を支えることができる有能な人
- ・高度先進医療に対応し常に努力することができる人
- ・専門的な知識を習得するのみならず研究・思考することができる人
- ・患者の立場に立ち行動し、発言できる豊かな人間性を持つ人

③検査技術科学専攻

臨床検査は、病気の診断や治療効果の判定に重要な役割を果たす専門技術です。検査技術科学専攻では、臨床検査に関わる技術と知識を体系的に学習します。さらに学内及び学外

の医療現場での豊富な実習を通じて、専門技術者としての仕事の実際や、医療チームの一員としての責任を学びます。また、研究室への配属を通じて、将来の医療科学を担う者として幅広い科学的知識、実験技術などを学び、将来の進歩や変化に対応するための能力を養成します。卒業時には、臨床検査技師の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

- ・たゆまず努力して、自分の能力を高めようとする人
- ・専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・医療科学の分野で新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・検査技術の進歩のために、将来のリーダーとなる夢を持つ人

④理学療法学専攻

理学療法学は、リハビリテーション医療の一専門分野です。種々の疾患や事故などにより、神経、筋、骨格、循環器、呼吸器などに損傷や障害をきたした人に対して、運動療法や物理療法を駆使して治療に当たります。理学療法学専攻は、理学療法士となるために必要な治療技術を科学的、実践的に修得するとともに、医療人としてあるべき人間性を育成します。卒業時には、理学療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

- ・豊かな人間性と愛情を持ち、学習意欲の高い人
- ・社会のニーズに応え、努力を惜しまない人
- ・理学療法学の今後を担い、人類社会に貢献できる人

⑤作業療法学専攻

作業療法士として必要な知識、技術、コミュニケーション能力を修得し、専門職として生涯学習し、研究する態度をもってレベルの向上を維持し続け、作業療法を実施する中で人間性を豊かに高める人材を養成します。本学の作業療法教育は日本で最も歴史があり、生活能力分野では最先端をリードし続けています。作業療法の技術科学を修得し、研究を進め、技術を開発し、社会に役立ちたい人の入学を希望します。卒業時には、作業療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

- ・たゆまず努力して、自分の能力を高めようとする人
- ・専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の新たな能力を引き出し活用する作業療法を修得し発展させたい人
- ・自分の弱点を良い点に変え、自分の眠る能力を引き出し、自分を作っていく人

2 募集人員

学域・学類等		入学定員	募集人員					
			一般入試		推薦入試	帰国子女入試	AO入試	
			前期日程	後期日程				
人間社会学域	人文学類	145	104	35	(推薦入試Ⅰ) 人間科学コース 専門分野：哲学・人間学 歴史文化学コース 専門分野：日本史学 専門分野：東洋史学 専門分野：西洋史学 言語文化学コース 専門分野：日本語学日本文学 専門分野：中国語学中国文学	6 1 1 1 1 1 1	若干名	—
	法学類	170	125 (L方式 75 M方式 50)	30	(推薦入試Ⅱ)	15	若干名	—
	経済学類	185	145	20	(推薦入試Ⅰ)	20	若干名	—
	学校教育学類	100	64	—	(推薦入試Ⅰ) 特別支援教育専修 美術教育専修 (推薦入試Ⅱ) 国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 音楽教育専修 保健体育専修 家政教育専修 英語教育専修	36 8 5 3 28 3 3 3 5 4 5 2 3	—	—
	地域創造学類	80	50	10	(推薦入試Ⅰ) 福祉マネジメントコース 環境共生コース 地域プランニングコース (推薦入試Ⅱ) 健康スポーツコース	20 12 4 4 4 8 8	若干名	—
	国際学類	70	40	15	(推薦入試Ⅰ)	15	若干名	—
	計	750	528	110	(推薦入試Ⅰ) (推薦入試Ⅱ)	112 61 51	—	—

学域・学類等		入学定員	募集人員						
			一般入試		推薦入試	帰国子女入試	AO入試		
			前期日程	後期日程					
理工学域	数物科学類	84	67	13	(推薦入試Ⅰ)	4	若干名	—	
	物質化学類	81	59	17	(推薦入試Ⅰ)	5	若干名	—	
	機械工学類	140	114	20	—		若干名	$\left(\begin{array}{l} \text{人間機械コース} \\ \text{エネルギー環境コース} \end{array} \right)$	
	電子情報学類	108	80	15	(推薦入試Ⅰ)	9	若干名	$\left(\begin{array}{l} \\ \text{生命情報コース} \end{array} \right)$	
	環境デザイン学類	74	63	7	(推薦入試Ⅰ)	4	若干名	—	
	自然システム学類	102	82	13	(推薦入試Ⅰ)	7	若干名	—	
	計	589	465	85	(推薦入試Ⅰ)	29	—	10	
医薬保健学域	医学類(6年制)	112	80	—	(推薦入試Ⅱ)	32	若干名	—	
	薬学類(6年制)	35	60	—	—	20			
	創薬科学類	40					12	15	
	保健学類	看護学専攻	80	55	10	(推薦入試Ⅰ)	15	若干名	—
		放射線技術科学専攻	40	29	5	(推薦入試Ⅰ)	6	若干名	—
		検査技術科学専攻	40	29	5	(推薦入試Ⅰ)	6	若干名	—
		理学療法学専攻	20	15	—	(推薦入試Ⅰ)	5	若干名	—
		作業療法学専攻	20	15	—	(推薦入試Ⅰ)	5	若干名	—
		小計	200	143	20	(推薦入試Ⅰ)	37	—	—
	計	387	283	20	(推薦入試Ⅰ)	69	—	15	
合計	1,726	1,276	215	(推薦入試Ⅰ)	210	—	25		
				(推薦入試Ⅱ)	83				

- (注)
1. 前期日程の募集人員(法学類以外)には、帰国子女入試の募集人員を含みます。
 2. 法学類の後期日程の募集人員には、帰国子女入試の募集人員を含みます。
 3. 推薦入試、帰国子女入試及びAO入試の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。
 4. 医薬保健学域薬学類(6年制)、創薬科学類(4年制)の選抜は一括で実施します。各学類への所属は3年次後期からとなります。
 5. 推薦入試Ⅰは、大学入試センター試験を課さない推薦入試です。推薦入試Ⅱは、大学入試センター試験を課す推薦入試です。
 6. AO入試は、大学入試センター試験を課す入試です。
 7. 推薦入試、帰国子女入試、AO入試の詳細は、18～41ページに記載しています。

3 入学者選抜方法等

1 一般入試，専門高校・総合学科卒業生入試

[前期日程]

学域・学類	選抜方法等	個別学力検査等						専門高校・総合学科卒業生入試	個別学力検査等の日程	備考 (「欠員の補充の方法等」)			
		個別学力検査を課す	実技検査等			2段階選抜							
			実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	主として、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う				第1段階に合格する者の数	その他	
人間社会学域	人文学類	○	×	×	×	○*	×	×	×	×	平成23年 2月25日(金)	3 2 1 「前期日程」と「前期日程」の併願はできないので注意してください。 学内併願について、「前期日程」と「後期日程」で同じ学域学類又は異なった学域学類を受験することを認めます。 欠員の補充は、追加合格及び欠員補充第2次募集により行います。	
	法学類												○*
	経済学類												×
	学校教育学類												×
	地域創造学類												○*
	国際学類												×
理工学域	数物科学類	○	×	×	×	×	×	×	×	×	平成23年 2月25日(金)		
	物質化学類												
	機械工学類												
	電子情報学類												
	環境デザイン学類												
	自然システム学類												
医薬保健学域	医学類	○	×	○	×	×	○	4 倍 程 度	×	×	平成23年 2月25日(金) ～26日(土)		
	薬学類												
	創薬科学類												
	保健学類												

- (注)
- 印は該当することを示し，×印は該当しないことを示します。
 - * は，選択できる学域学類の中でドイツ語，フランス語及び中国語を選択した場合にリスニングテストを課すことを示します。
 - 医薬保健学域薬学類(6年制)，創薬科学類(4年制)の選抜は一括で実施します。各学類への所属は3年次後期からとなります。
 - 実施教科・科目等については，13～17ページで確認してください。

〔後期日程〕

学域・学類		個別学力検査等								専門高校・総合学科卒業生入試	個別学力検査等の日程	備考 （欠員の補充の方法等）
		個別学力検査を課す	実技検査等				2段階選抜					
			実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	主として、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階に合格する者の数	定員に対する倍率			
人間社会学域	人文学類										平成23年 3月12日(土)	3 欠員の補充は、追加合格及び欠員補充第2次募集により行います。
	法学類	×	×	×	○	×	×	×	×			
	経済学類	×	×	×	○	×	×	×	×			
	地域創造学類	×	×	×	○	×	×	×	×			
	国際学類	×	×	×	○	×	×	×	×			
理工学域	数物科学類										平成23年 3月12日(土)	2 学内併願について、「前期日程」と「後期日程」で同じ学域学類又は異なった学域学類を受験することを認めます。
	物質化学類	○		×								
	機械工学類		×		×							
	電子情報学類		×		×							
	環境デザイン学類			○								
自然システム学類	×		×	○								
医薬保健学域	保健学類	×	×	○	×	×	×	×	×		平成23年 3月12日(土)	

(注) 1. ○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。
2. 実施教科・科目等については、13～17ページで確認してください。

2 推薦入試, 帰国子女入試, アドミッション・オフィス入試 (AO入試)

学域・学類等	選抜方法等	推 薦 入 試							帰国子女・社会人等のための入試			アドミッション・オフィス入試	その他の入試	備 考		
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する							帰国子女	中国引揚者等子女	社会人					
		個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課す	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実 技 検 査 等											推薦入試募集人員	
				実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	その他								
人間社会学域	人間科学コース 専門分野：哲学・人間学							1							国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合・課さない場合を含めて）に出願することができるのは、1つの大学・学部（学域学類）ですので注意してください。	
	歴史文化学コース 専門分野：日本史学							1								
	歴史文化学コース 専門分野：東洋史学	×	○			○		1								
	歴史文化学コース 専門分野：西洋史学							1	○							
	言語文化学コース 専門分野：日本語学日本文学				○			1								
	言語文化学コース 専門分野：中国語学中国文学			×				1			×					
	法学類	○	×			×		15								
	経済学類	×	○			○		20								
	学校教育学類	特別支援教育専修							5							
		国語教育専修					×	×	3		×	×	×	×		
		社会科教育専修				×	○		3							
		数学教育専修	○	×					3							
		理科教育専修					×		5							
		音楽教育専修							4	×						
		美術教育専修	×	○		○		○*1	3							
		保健体育専修							5							
		家政教育専修	○	×			×		2							
		英語教育専修				○			3							
	地域創造学類	福祉マネジメントコース			×				4							
		環境共生コース	×	○					4							
地域プランニングコース								4	○							
健康スポーツコース		○	×			×		8								
国際学類	×	○			○		15									
理工学域	数物科学類		○		○	○		4				×				
	物質化学類							5								
	機械工学類	×	×	×	×	×	×	—	○	×	×	○*2	×			
	電子情報学類							9				○*3				
	環境デザイン学類		○		○	○		4				×				
	自然システム学類							7								
医薬保健学域	医学類 一般枠	○			○			20				×				
	特別枠		×			×		12								
	薬学類 創薬科学類				×			—				○				
	保健学類	看護学専攻			×	○	×	×	15	○	×	×		×		
		放射線技術科学専攻	×			×			6							
		検査技術科学専攻		○		○			6				×			
		理学療法学専攻				×			5							
作業療法学専攻				○			5									

- (注) 1. ○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。
 2. ○*1の人間社会学域学校教育学類美術教育専修推薦入試では、作品の提出を求めます。
 3. ○*2は、理工学域機械工学類人間機械コース及びエネルギー環境コースです。
 4. ○*3は、理工学域電子情報学類生命情報コースです。
 5. 医薬保健学域薬学類（6年制）、創薬科学類（4年制）の選抜は一括で実施します。各学類への所属は3年次後期からとなります。
 6. 募集人員、出願要件、選抜方法等については、18～41ページで確認してください。

4 一般入試

入学者の選抜は、分離・分割方式（前期日程・後期日程）で行い、大学入試センター試験並びに本学が行う個別学力検査等及び調査書の審査の結果を総合して行います。

一般入試は、配点比率を示した大学入試センター試験と個別学力検査等の結果を総合して合否判定を行うのが基本であり、調査書は履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料として用います。

1 実施日程

(1) 大学入試センター試験

大学入試センター試験実施日……………平成23年1月15日（土）、16日（日）

(2) 個別学力検査

項目	前期日程	後期日程
出願期間	平成23年1月24日（月）～2月2日（水）	
2段階選抜の 第1段階選抜 合格者発表日	2月9日（水） ※医薬保健学域医学類のみ	—
学力検査等実施日	2月25日（金） ※全学域	3月12日（土）
	2月26日（土） ※医薬保健学域医学類の面接のみ	
合格者発表日	3月8日（火）	3月22日（火）

2 出願資格

次のいずれかに該当し、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験において、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目（13～17ページ「3. 入学者選抜の実施教科・科目等」）を受験した者*

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成23年3月31日までに18歳に達するもの

【注】 上記（4）により出願しようとする場合は、個別の入学資格審査を行いますので、本学ホームページの「金沢大学入学資格審査申請要領」により申請してください。

（アドレス <http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/gakubu/sinsa.html>）

※ 大学入試センター試験において、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目を受験しなければ、個別学力検査等を受験できません。

〔参考〕学校教育法施行規則第150条

学校教育法第90条第1項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 1 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 3 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 4 文部科学大臣の指定した者
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 6 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

3 入学者選抜の実施教科・科目等

(その1)

学域・学類等名 及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の 選抜方法 等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の 区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		小論文	面接	配点 合計
人文学類 145人 前期 104 後期 35 その他 6	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国語 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経から1 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目]	国 外	国表I・国表II・国総 英II・リーディング・ライティ ング, 独, 仏, 中から1	—	センター 試験	200	100	100	200	100	200			900	推薦 帰国子女 外国人
		理 外				個別 学力検査	300						300			600	追加合格 欠員補充
	計					500	100	100	200	100	500				1500		
	後期 3月12日	国 地歴 公民 数	国語 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経から1 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科3科目]	そ 他	小論文(広く人間・社会・歴史・文化・言語に関する課題を示して論述させます。)	—	センター 試験	100	※100	※100	※100	※100	100			300	
		理 外				個別 学力検査							300		300		
		計					100	※100	※100	※100	※100	100	300		600		
法学類 170人 前期 125 後期 30 その他 15	L方式 前期 75	国 地歴 公民 数	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経から1 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目]	国 外	国表I・国表II・国総 英II・リーディング・ライティ ング, 独, 仏, 中から1	—	センター 試験	200	100	100	200	100	200			900	推薦 帰国子女 外国人
		理 外				個別 学力検査	300						300			600	追加合格 欠員補充
	計					500	100	100	200	100	500				1500		
	M方式 前期 50	数 外	数I・数II・数A・数B 英II・リーディング・ライティ ング, 独, 仏, 中から1	そ 他	小論文(広く社会・文化に関する課題を示して論述させます。)	—	センター 試験	200	100	100	200	100	200			900	
						個別 学力検査							300		600		
		計				200	100	100	500	100	500				1500		
人間社会 学域 750人 前期 528 後期 110 その他 112	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経から1 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目]	国 外	国表I・国表II・国総 英II・リーディング・ライティ ング, 独, 仏, 中から1	—	センター 試験	200	100	100	200	100	200			900	推薦 帰国子女 外国人
		理 外				個別 学力検査	300						300			600	追加合格 欠員補充
	計					500	100	100	200	100	500				1500		
	後期 3月12日	そ 他	小論文(広く社会・文化に関する課題を示して論述させます。)	—	センター 試験	200	100	100	200	100	200	600			600		
						個別 学力検査						600		600			
		計				200	100	100	200	100	200	600		1500			
経済学類 185人 前期 145 後期 20 その他 20	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経から1 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目]	国 数 外	国表I・国表II・国総 英II・リーディング・ライティ ング, 独から1 }から2 数I・数II・数A・数B }から1	—	センター 試験	200	100	100	200	100	200			900	推薦 帰国子女 外国人
		理 外				個別 学力検査	※200				※200		※200			400	追加合格 欠員補充
	計					※400	100	100	※400	100	※400				1300		
	後期 3月12日	そ 他	小論文(現代の文化・社会・経済に関する課題について論述させます。英文を出題します。)	—	センター 試験	200	100	100	200	100	200				900		
						個別 学力検査							800		800		
		計				200	100	100	200	100	200	800		1700			
学校教育学類 100人 前期 64 その他 36	前期 2月25日	国 地歴 公民 理 数	国語 世A, 世B, 日A, 日B, }から1 地理A, 地理Bから1 }又は2 現社, 倫, 政経から1 }から3 理総A, 理総B, 物I, }から1 化I, 生I, 地学Iから1又は2 } 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[6教科7科目]	国 数 理 外	国表I・国表II・国総 英II・リーディング・ライティ ング }から1 数I・数II・数A・数B }から1 物I・物II, 化I・化II, }から1 生I・生II, 地学I・ } 地学IIから1 } 英II・リーディング・ライティ ング }から1	—	センター 試験	200	※100	※100	200	100 又は 200	200			900	推薦 外国人
		理 外				個別 学力検査	※300			※300	※300	300			600	追加合格 欠員補充	
	計					※500	※100	※100	※500	※400 又は ※500	500				1500		
	後期 3月12日																

学域・学類名 及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の 選抜方法 等							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の 区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		小論文	面接	配点 合計				
人間社会 学域	地域創造学類 80人 前期 50 後期 10 その他 20	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経から1 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理綜A, 理綜B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目]	国 数 外	国表I・国表II・国総 数I・数II・数A・数B 英II・リーディング・ ライティング, 独から1 } から2	—	センター 試験	200	100	100	200	100	200			900	推薦 帰国子女 外国人			
								個別 学力検査	※200			※200		※200						400	追加合格 欠員補充
								計	※400	100	100	※400	100	※400						1300	
	前期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経から1 数I・数A, 数II・数B, } から2 工, 簿, 情報から1 理綜A, 理綜B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [2教科2科目]	そ 他	小論文(広く地域・社会・文化 に対する課題を示して論述させ ます。)	—	センター 試験	※100	※100	※100	※100	※100	※100			200					
							個別 学力検査									400	400				
							計	※100	※100	※100	※100	※100	※100			400	600				
国際学類 70人 前期 40 後期 15 その他 15	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経から1 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理綜A, 理綜B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目]	国 外	国表I・国表II・国総 英II・リーディング・ライテ ィング	—	センター 試験	200	100	100	200	100	200			900	推薦 帰国子女 外国人				
							個別 学力検査	300					300					600	追加合格 欠員補充		
							計	500	100	100	200	100	500					1500			
後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経から1 数I・数A, 数II・数B, } から2 工, 簿, 情報から1 理綜A, 理綜B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [2教科2科目]	そ 他	小論文(広く社会・文化に関 する課題について論述させます。 英文も出題します。)	—	センター 試験	200	100	100	200	100	200			900						
						個別 学力検査								600	600						
						計	200	100	100	200	100	200	600	1500							
理工学域 589人 前期 465 後期 85 AO 10 その他 29	数物科学類 84人 前期 67 後期 13 その他 4	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B } から1 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経から1 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物Iと化I 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・ 数B・数C 物I・物II, 化I・化IIから1 英II・リーディング・ライテ ィング	—	センター 試験	200	※100	※100	200	200	200			900	推薦 帰国子女 外国人			
								個別 学力検査				450	350	100					900	追加合格 欠員補充	
								計	200	※100	※100	650	550	300					1800		
	後期 3月12日	数 理	数I・数II・数III・数A・ 数B・数C 物I・物II	—	センター 試験	200	※100	※100	200	200	200				900						
					個別 学力検査				300	300					600						
					計	200	※100	※100	500	500	200				1500						
	物質化学類 81人 前期 59 後期 17 その他 5	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B } から1 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経から1 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物Iと化I 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・ 数B・数C 化I・化II 英II・リーディング・ライテ ィング	—	センター 試験	100	※50	※50	100	100	100			450	推薦 帰国子女 外国人			
								個別 学力検査				200	200	200				600	追加合格 欠員補充		
								計	100	※50	※50	300	300	300				1050			
	後期 3月12日	理	化I・化II	—	センター 試験	50	※50	※50	100	100	100				400						
					個別 学力検査					400					400						
					計	50	※50	※50	100	500	100				800						
機械工学類 140人 前期 114 後期 20 AO 6	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B } から1 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経から1 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物Iと化I 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・ 数B・数C 物I・物II 英II・リーディング・ライテ ィング	—	センター 試験	100	※50	※50	100	100	100			450	推薦 帰国子女 外国人				
							個別 学力検査				250	200	200				650	追加合格 欠員補充			
							計	100	※50	※50	350	300	300				1100				
後期 3月12日	外	英	[1教科1科目]	数 理	数I・数II・数III・数A・ 数B・数C 物I・物II	—	センター 試験						200			200					
							個別 学力検査				200	200					400				
							計				200	200	200				600				

学域・学類等名 及び入学定員等	学 力 検 査 等 の 区 分 ・ 日 程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の 選抜方法 等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の 区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		小論文	面接	配点 合計					
理工学域	電子情報学類 108人 前期 80 後期 15 AO 4 その他 9	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理Bから1 } 現社, 倫, 政経から1 } 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物I, 化I, 生Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・ 数B・数C 物I・物II 英II・リーディング・ライティ ング	—	センター 試 験	100	※50	※50	100	100	100			450	推薦 帰国子女 外国人				
								個 別 学 力 検 査											440	追加合格 欠員補充		
								計	100	※50	※50	300	220	220					890			
		後期 3月12日	数 理 外	数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物I 英 [3教科4科目]	数	数I・数II・数III・数A・ 数B・数C	—	センター 試 験					100	150	150			400				
								個 別 学 力 検 査											200			
								計				300	150	150				600				
	環境デザイン 学類 74人 前期 63 後期 7 その他 4	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理Bから1 } 現社, 倫, 政経から1 } 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物Iと化I 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・ 数B・数C 物I・物II, 化I・化IIから1 英II・リーディング・ライティ ング	—	センター 試 験	100	※50	※50	100	100	100			450	推薦 帰国子女 外国人				
								個 別 学 力 検 査					250	200	200				650	追加合格 欠員補充		
								計	100	※50	※50	350	300	300					1100			
		後期 3月12日	そ 他	面接(多面的な試問を行い, 勉 学遂行意欲を評定します。)	—	センター 試 験	100	※100	※100	100	100	100					500					
						個 別 学 力 検 査										100	100					
						計	100	※100	※100	100	100	100			100	100	600					
自然システム 学類 102人 前期 82 後期 13 その他 7	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理Bから1 } 現社, 倫, 政経から1 } 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・ 数B・数C 物I・物II, 化I・化II, 生I・生II, 地学I・地学IIか ら1 英II・リーディング・ライティ ング	—	センター 試 験	100	※100	※100	100	200	100			600	推薦 帰国子女 外国人					
							個 別 学 力 検 査									200	200	100	500	追加合格 欠員補充		
							計	100	※100	※100	300	400	200					1100				
	後期 3月12日	そ 他	小論文(科学・技術に関するこ とを論述させます。)	—	センター 試 験						200	200	200			600						
					個 別 学 力 検 査										200	200						
					計				200	200	200	200			800							
医薬保健 学域 387人 前期 283 後期 20 AO 15 その他 69	医学類 112人 前期 80 後期 32	前期 2月25日 ・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理Bから1 } 現社, 倫, 政経から1 } 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外 そ 他	数I・数II・数III・数A・ 数B・数C 物I・物IIと化I・化II 英II・リーディング・ライティ ング 面接(勉学意欲と資質等を判断 するための多面的な試問を行いま す。)	4 倍 程 度	センター 試 験	100	※50	※50	100	100	100			450	推薦 帰国子女 外国人				
								個 別 学 力 検 査										200	200	100	700	追加合格 欠員補充
								計	100	※50	※50	300	300	300			100	1150				
		薬学類 創薬科学類 75人 前期 60 後期 15	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理Bから1 } 現社, 倫, 政経から1 } 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物Iと化I 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・ 数B・数C 物I・物IIと化I・化II 英II・リーディング・ライティ ング	—	センター 試 験	100	※100	※100	200	200	200			800	帰国子女 外国人			
									個 別 学 力 検 査											800	追加合格 欠員補充	
									計	100	※100	※100	400	600	400					1600		
	保健 学類 200人 前期 143 後期 20 その他 37	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理Bから1 } 現社, 倫, 政経から1 } 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	理 外	物I・物II, 化I・化II, 生I・生IIから1 英II・リーディング・ライティ ング	—	センター 試 験	200	※100	※100	200	200	200			900	推薦 帰国子女 外国人				
								個 別 学 力 検 査										200	200	400	追加合格 欠員補充	
								計	200	※100	※100	200	400	400					1300			
		後期 3月12日	そ 他	面接(多面的な試問を行い, 勉学 意欲と資質適性を評定します。)	—	センター 試 験	200	※100	※100	200	200	200					900					
						個 別 学 力 検 査										200	200					
						計	200	※100	※100	200	200	200			200	1100						

学域・学類等名 及び入学定員等	学 力 検 査 等 の 区 分 ・ 日 程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の 選抜方法 等							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の 区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		小論文	面接	配点 合計				
医薬保健 学域	放射線 技術科学専攻 40人 前期 2月25日 後期 29 後期 5 その他 6 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理Bから1 } 現社, 倫, 政経から1 } 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	理 外	物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱ, 生Ⅰ・生Ⅱから1 英Ⅱ・リーディング・ライティ ング	—	センター 試 験	200	※100	※100	200	200	200			900	推薦 帰国子女 外国人				
							個 別 学 力 検 査									200	200	400	追加合格 欠員補充		
							計	200	※100	※100	200	400	400					1300			
		検査 技術科学専攻 40人 前期 2月25日 後期 29 後期 5 その他 6 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理Bから1 } 現社, 倫, 政経から1 } 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	理 外	物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱ, 生Ⅰ・生Ⅱから1 英Ⅱ・リーディング・ライティ ング	—	センター 試 験	200	※100	※100	200	200	200			900	推薦 帰国子女 外国人			
								個 別 学 力 検 査										200	200	400	追加合格 欠員補充
								計	200	※100	※100	200	400	400						1300	
	理学 療法学専攻 20人 前期 2月25日 後期 29 後期 5 その他 6 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理Bから1 } 現社, 倫, 政経から1 } 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	理 外	物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱ, 生Ⅰ・生Ⅱから1 英Ⅱ・リーディング・ライティ ング	—	センター 試 験	200	※100	※100	200	200	200			900	推薦 帰国子女 外国人				
							個 別 学 力 検 査										200	200	400	追加合格 欠員補充	
							計	200	※100	※100	200	400	400						1300		
	作業 療法学専攻 20人 前期 2月25日 後期 29 後期 5 その他 6 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理Bから1 } 現社, 倫, 政経から1 } 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	理 外	物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱ, 生Ⅰ・生Ⅱから1 英Ⅱ・リーディング・ライティ ング	—	センター 試 験	200	※100	※100	200	200	200			900	推薦 帰国子女 外国人				
							個 別 学 力 検 査										200	200	400	追加合格 欠員補充	
							計	200	※100	※100	200	400	400						1300		

(注)

- 「学域・学類等名及び入学定員等」欄のその他の数は、推薦入試の数です。(内訳は6～7ページを参照してください。)
- 教科, 科目名は次のとおり略記しています。
 - ①国 語……国表Ⅰ(国語表現Ⅰ), 国表Ⅱ(国語表現Ⅱ), 国総(国語総合)
 - ②地理歴史……世A(世界史A), 世B(世界史B), 日A(日本史A), 日B(日本史B)
 - ③公 民……現社(現代社会), 倫(倫理), 政経(政治・経済)
 - ④数 学……数Ⅰ(数学Ⅰ), 数Ⅱ(数学Ⅱ), 数Ⅲ(数学Ⅲ), 数A(数学A), 数B(数学B), 数C(数学C), 工(工業数理基礎), 簿(簿記・会計), 情報(情報関係基礎)
 - ⑤理 科……理総A(理科総合A), 理総B(理科総合B), 物Ⅰ(物理Ⅰ), 物Ⅱ(物理Ⅱ), 化Ⅰ(化学Ⅰ), 化Ⅱ(化学Ⅱ), 生Ⅰ(生物Ⅰ), 生Ⅱ(生物Ⅱ)
 - ⑥外 国 語……英(英語), 英Ⅱ(英語Ⅱ), 独(ドイツ語), 仏(フランス語), 中(中国語), 韓(韓国語)
- 大学入試センター試験の数学のうち「工」, 「簿」, 「情報」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- 個別学力検査の「数B」, 「数C」, 「物Ⅱ」, 「化Ⅱ」, 「生Ⅱ」及び「地学Ⅱ」の出題範囲については次のとおりです。

「数B」……「数列」, 「ベクトル」

「数C」……「行列とその応用」, 「式と曲線」

「物Ⅱ」……学習指導要領に示された内容のうち, 選択分野を出題範囲から除き出題します。

「化Ⅱ」, 「生Ⅱ」, 「地学Ⅱ」……学習指導要領に示された選択分野によって受験生に対して不利が生じないように出題します。

5. 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について
- (1) 配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
 - (2) 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を採用します。
 - (3) 大学入試センター試験で数学2科目又は理科2科目を課す学域学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
 - (4) 人間社会学域学校教育学類の大学入試センター試験の地歴、公民及び理科の各科目の配点は合計300点とします。
 - (5) 医薬保健学域医学類及び薬学類・創薬科学類の個別学力検査の理科2科目については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
 - (6) 大学入試センター試験の英語にはリスニングテストが含まれており、成績は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点となるように圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用します。
なお、大学入試センター試験の英語のリスニングテストが免除となる重度難聴者については、英語の筆記試験の成績（200点満点）を圧縮せずに利用します。
また、入学者選抜の配点にあたっては、学域学類等に示されているセンター試験の外国語の配点に換算します。
6. 大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。
また、個別学力検査等で、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、失格となります。
7. 2段階選抜の実施
医薬保健学域医学類については、志願者数が募集人員に対する予告倍率（4倍程度）を超えた場合には、大学入試センター試験の教科・科目の配点による成績の総得点により第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、第1段階選抜合格者についてのみ第2段階選抜を実施します。

5 推薦入試

1 推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない)

(1) 推薦要件, 入学者選抜方法等

推薦 I 1

実施学域・学類等名	人間社会学域 人文学類 人間科学コース(専門分野: 哲学・人間学)
募集人員	1人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり, かつ, 国語・外国語・地歴・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者*で, 出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合, 入学することを確約できる者 4. 推薦は, 1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は, 小論文, 面接の結果及び提出書類等(調査書, 推薦書, 志願理由書)により総合して行います。(調査書, 推薦書, 志願理由書は, 平素の学習活動の成果を確認するものとして, 面接の参考とします。) 小論文—哲学や倫理学にかかわるテーマについて, 関連する文章を提示した上で, 論述させます。 3. 配点 小論文 100点 面接 100点

※「国語・外国語・地歴・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者」とは, 高等学校生徒指導要録に基づき, 当該4教科の各科目の評定の合計数を評定数で除した数値が4.3以上である者を指します。

推薦 I 2

実施学域・学類等名	人間社会学域 人文学類 歴史文化学コース(専門分野: 日本史学)
募集人員	1人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり, かつ, 国語・外国語・地歴・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者*で, 出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合, 入学することを確約できる者 4. 推薦は, 1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は, 小論文, 面接の結果及び提出書類等(調査書, 推薦書, 志願理由書)により総合して行います。(調査書, 推薦書, 志願理由書は, 平素の学習活動の成果を確認するものとして, 面接の参考とします。) 小論文—日本史に関する課題について論述させます。 関連する資料等を提示することもあります。 3. 配点 小論文 100点 面接 100点

※「国語・外国語・地歴・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者」とは, 高等学校生徒指導要録に基づき, 当該4教科の各科目の評定の合計数を評定数で除した数値が4.3以上である者を指します。

実施学域・学類等名	人間社会学域 人文学類 歴史文化学コース(専門分野:東洋史学)
募集人員	1人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり、かつ、国語・外国語・地歴・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者*で、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。(調査書、推薦書、志願理由書は、平素の学習活動の成果を確認するものとして、面接の参考とします。) 小論文—関連する文章や資料を提示した上で、アジアを中心とした世界の歴史に関する課題について論述させます。 3. 配点 小論文 100点 面接 100点

※「国語・外国語・地歴・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者」とは、高等学校生徒指導要録に基づき、当該4教科の各科目の評定の合計数を評定数で除した数値が4.3以上である者を指します。

実施学域・学類等名	人間社会学域 人文学類 歴史文化学コース(専門分野:西洋史学)
募集人員	1人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり、かつ、国語・外国語・地歴・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者*で、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。(調査書、推薦書、志願理由書は、平素の学習活動の成果を確認するものとして、面接の参考とします。) 小論文—欧米を中心とした世界の歴史にかかわるテーマについて論述させます。その際、文章や資料を提示することもあります。 3. 配点 小論文 100点 面接 100点

※「国語・外国語・地歴・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者」とは、高等学校生徒指導要録に基づき、当該4教科の各科目の評定の合計数を評定数で除した数値が4.3以上である者を指します。

実施学域・学類等名	人間社会学域 人文学類 言語文化学コース(専門分野:日本語学日本文学)
募集人員	1人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり、かつ、国語・外国語・地歴・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者*で、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。(調査書、推薦書、志願理由書は、平素の学習活動の成果を確認するものとして、面接の参考とします。) 小論文—日本語や日本文学に関する文章について論述させます。 3. 配点 小論文 100点 面接 100点

※「国語・外国語・地歴・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者」とは、高等学校生徒指導要録に基づき、当該4教科の各科目の評定の合計数を評定数で除した数値が4.3以上である者を指します。

実施学域・学類等名	人間社会学域 人文学類 言語文化学コース(専門分野:中国語学中国文学)
募集人員	1人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり、かつ、国語・外国語・地歴・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者*で、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。(調査書、推薦書、志願理由書は、平素の学習活動の成果を確認するものとして、面接の参考とします。) 小論文—言葉と文学をテーマとする文章を提示し、それらについて論述させます。文章は、英語文、中国語文の二つを提示します。いずれかを選択して日本語で解答します。 3. 配点 小論文 100点 面接 100点

※「国語・外国語・地歴・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者」とは、高等学校生徒指導要録に基づき、当該4教科の各科目の評定の合計数を評定数で除した数値が4.3以上である者を指します。

推薦 I 7

実施学域・学類等名	人間社会学域 経済学類
募集人員	20人
推薦要件	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校(若しくは中等教育学校)の専門教育を主とする学科又は総合学科で専門教育に関する各教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む)して平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次のすべての要件を満たすもの <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校(若しくは中等教育学校後期課程)における学習成績概評がA段階以上(評定平均4.3以上)に該当する者 (2) 出身学校長が責任を持って推薦できる者 (3) 特別活動又は校外での活動において優れた能力を有する者が望ましい 2. 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類(調査書、推薦書、志願理由書)等により総合して行います。 小論文—現代の文化・社会・経済に関する「小論文Ⅰ」(英文の資料を与え英和辞典を貸与します。)及び「小論文Ⅱ」を課し、いずれも出題された論題について800字程度で論述させます。 3. 配点 小論文Ⅰ 100点 小論文Ⅱ 100点 面接 100点

推薦 I 8

実施学域・学類等名	人間社会学域 学校教育学類 特別支援教育専修
募集人員	5人
推薦要件	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当し、特別支援教育に熱意を有する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。 小論文—特別支援教育に関わる種々のテーマから出題し、800字程度で論述させます。 3. 配点 小論文 400点 面接 200点

実施学域・学類等名	人間社会学域 学校教育学類 美術教育専修
募集人員	3人
推薦要件	以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 特に美術に優れ、美術教育に熱意を有し、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、実技、小論文、面接(作品提出を含む)の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。 実 技—デッサン(用具として、鉛筆、消しゴム及びデッサン用具を持参してください。) 小 論 文—美術に関わる種々のテーマから出題し、800字程度で論述させます。 提出作品—自作による美術作品1点以上。分野、作品の大きさは自由とし、面接時に持参できるものとします。 3. 配点 実 技 50点 小論文 30点 面 接 20点

実施学域・学類等名	人間社会学域 地域創造学類 福祉マネジメントコース
募集人員	4人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、福祉マネジメントコースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。 小論文—福祉に関することについて論述させます。 3. 配点 小論文 100点 面 接 100点

推薦 I 11

実施学域・学類等名	人間社会学域 地域創造学類 環境共生コース
募集人員	4人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、環境共生コースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。 小論文—環境共生に関することを論述させます。 3. 配点 小論文 100点 面接 100点

推薦 I 12

実施学域・学類等名	人間社会学域 地域創造学類 地域プランニングコース
募集人員	4人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、地域プランニングコースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。 小論文—地域づくりに関することを論述させます。 3. 配点 小論文 100点 面接 100点

実施学域・学類等名	人間社会学域 国際学類	実施学域・学類等名	理工学域 数物科学類
募集人員	15人	募集人員	4人
推薦要件	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、出身学校長が責任を持って推薦できるもの <ol style="list-style-type: none"> 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 通常の課程による12年の学校教育を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 合格した場合、入学することを確約できる者 推薦は、1校につき1名とします。 	推薦要件	<p>以下の1から3のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 人物及び学業成績が優秀で、本学類における勉学に熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 合格した場合、入学することを確約できる者
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 第1次選考 提出された書類の審査、小論文の成績 小論文—英語の文章を読ませ、それに関する問いに英語及び日本語で答えさせ、英語の知識とともに社会・文化についての知識や論理的思考力を見ます。 第1次選考結果は、平成22年11月18日(木)に本人あて通知します。 第2次選考 <ol style="list-style-type: none"> 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。 第2次選考は、調査書、推薦書、志願理由書、面接の結果を総合して行います。なお、調査書は面接の参考とします。 合否判定 第1次選考(100点満点)と第2次選考(100点満点)の結果を総合して行います。 	選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。 小論文—数学又は物理に関する基本的問題あるいはテーマについて論述させます。 配点 小論文 100点 面接(調査書、推薦書、志願理由書を含む) 150点

実施学域・学類等名	理工学域 物質化学類
募集人員	5人
推薦要件	以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、本学類における勉学に熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書(志願する理由等、自己アピールを500字以内でまとめた自筆のもの)等提出された書類により総合して行います。 小論文—化学に関する基本的問題や、科学技術等に関することを論述させます。 3. 配点 小論文 150点 面接(調査書、推薦書、志願理由書を含む) 100点

実施学域・学類等名	理工学域 電子情報学類
募集人員	9人
推薦要件	以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、本学類における勉学に熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書(志願する理由等、自己アピールを500字以内でまとめた自筆のもの)等提出された書類により総合して行います。 小論文—科学・技術に関することを論述させます。 3. 配点 小論文 100点 面接(調査書、推薦書、志願理由書を含む) 150点

実施学域・学類等名	理工学域 環境デザイン学類
募集人員	4人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、本学類における勉学に熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書(志願する理由等、自己アピールを500字以内でまとめた自筆のもの)等提出された書類により総合して行います。 小論文—科学・技術に関することを論述させます。 3. 配点 小論文 100点 面接(調査書、推薦書、志願理由書を含む) 200点

実施学域・学類等名	理工学域 自然システム学類
募集人員	7人
推薦要件	以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、本学類における勉学に熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書(志願する理由等、自己アピールを500字以内でまとめた自筆のもの)等提出された書類により総合して行います。 小論文—科学・技術に関することを論述させます。 3. 配点 小論文 100点 面接(調査書、推薦書、志願理由書を含む) 200点

実施学域・学類等名	医薬保健学域 保健学類 看護学専攻
募集人員	15人
推薦要件	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 通常の課程による12年の学校教育を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 学業成績が優秀、人物に優れ、看護学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 合格した場合、入学することを確約できる者 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。 小論文—健康に関するテーマについて800字以内で論述させます。 配点 小論文 100点 面接(調査書、推薦書、志願理由書等を含む) 100点

実施学域・学類等名	医薬保健学域 保健学類 放射線技術科学専攻
募集人員	6人
推薦要件	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 学業成績が優秀、人物に優れ、放射線技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 合格した場合、入学することを確約できる者 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 選抜は、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。 配点 面接(調査書、推薦書、志願理由書等を含む) 100点

推薦 I 21

実施学域・学類等名	医薬保健学域 保健学類 検査技術科学専攻
募集人員	6人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、検査技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。 小論文—医学に関する「小論文」(英文の資料を与えます。英和辞典は持ち込み可とします。)を課し、出題された論題について論述させます。 3. 配点 小論文 100点 面接(調査書、推薦書、志願理由書等を含む) 100点

推薦 I 22

実施学域・学類等名	医薬保健学域 保健学類 理学療法学専攻
募集人員	5人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。 3. 配点 面接(調査書、推薦書、志願理由書等を含む) 100点

実施学域・学類等名	医薬保健学域 保健学類 作業療法学専攻
募集人員	5人
推薦要件	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。 小論文一人間・医療に関する科学的思考について800字以内で論述させます。 3. 配点 小論文 100点 面接(調査書、推薦書、志願理由書等を含む) 100点

(2) 出願期間

平成22年11月1日(月)～平成22年11月5日(金)

(3) 選抜期日

人間社会学域(人文学類, 学校教育学類, 地域創造学類), 理工学域(数物科学類, 物質化学類, 電子情報学類, 環境デザイン学類, 自然システム学類), 医薬保健学域(保健学類): 平成22年11月27日(土)

人間社会学域(国際学類): 第1次選考 平成22年11月13日(土)

第2次選考 平成22年11月27日(土)

人間社会学域(経済学類): 小論文 平成22年11月27日(土)

面接 平成22年11月28日(日)

(4) 合格者発表

平成22年12月8日(水)

(5) その他

① 個別学力検査等の取り扱いについて

推薦入試に合格しなかった者のうち、各学類が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で、所要の手続きにより再出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に個別学力検査等を受けることができます。

② 原則として、入学後の転学類・転専攻等を認めません。

2 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）

(1) 推薦要件，入学者選抜方法等

推薦Ⅱ 1

推薦Ⅱ 2

実施学域・学類等名	人間社会学域 法学類																											
募集人員	15人																											
推薦要件	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で，平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(認定平均3.5以上)に該当する者で，かつ，出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合，入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は，1校につき2名以内とします。</p>																											
選抜方法等	<p>1. 選抜は，大学入試センター試験の成績，面接の結果及び提出書類等(調査書，推薦書，志願理由書)により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">大学入試センター試験で課す教科・科目名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国(国語)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B)</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">から1</td> </tr> <tr> <td>公民(現社,倫,政経)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外(英,独,仏,中,韓から1)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">400点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">[4教科5科目]</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td style="text-align: right;">400点</td> <td></td> </tr> </table>	大学入試センター試験で課す教科・科目名			国(国語)		100点	地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B)	}	から1	公民(現社,倫,政経)		100点	数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1)		100点	外(英,独,仏,中,韓から1)		100点	合計		400点			[4教科5科目]	面接	400点	
大学入試センター試験で課す教科・科目名																												
国(国語)		100点																										
地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B)	}	から1																										
公民(現社,倫,政経)		100点																										
数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1)		100点																										
外(英,独,仏,中,韓から1)		100点																										
合計		400点																										
		[4教科5科目]																										
面接	400点																											

実施学域・学類等名	人間社会学域 学校教育学類 国語教育専修																														
募集人員	3人																														
推薦要件	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で，平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で，かつ，出身学校長が人物・能力等，特に教育職員に就くにふさわしい資質・適性について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合，入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は，1校につき1名とします。</p>																														
選抜方法等	<p>1. 選抜は，大学入試センター試験の成績，面接の結果及び提出書類等(調査書，推薦書，志願理由書)により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">大学入試センター試験で課す教科・科目名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国(国語)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">400点</td> </tr> <tr> <td>地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">から1</td> </tr> <tr> <td>公民(現社,倫,政経から1)</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">又は2</td> </tr> <tr> <td>理(理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1又は2)</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">から3</td> </tr> <tr> <td>数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">300点</td> </tr> <tr> <td>外(英,独,仏,中,韓から1)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,100点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">[5教科7科目]又は[6教科7科目]</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td style="text-align: right;">200点</td> <td></td> </tr> </table>	大学入試センター試験で課す教科・科目名			国(国語)		400点	地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)	}	から1	公民(現社,倫,政経から1)	}	又は2	理(理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1又は2)	}	から3	数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1)		300点	外(英,独,仏,中,韓から1)		200点	合計		1,100点			[5教科7科目]又は[6教科7科目]	面接	200点	
大学入試センター試験で課す教科・科目名																															
国(国語)		400点																													
地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)	}	から1																													
公民(現社,倫,政経から1)	}	又は2																													
理(理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1又は2)	}	から3																													
数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1)		300点																													
外(英,独,仏,中,韓から1)		200点																													
合計		1,100点																													
		[5教科7科目]又は[6教科7科目]																													
面接	200点																														

実施学域・学類等名	人間社会学域 学校教育学類 社会科教育専修														
募集人員	3人														
推薦要件	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき2名以内とします。</p>														
選抜方法等	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、小論文の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。</p> <p>小論文—社会科教育に関わる種々のテーマから出題し、800字程度で論述させます。</p> <p>2. 配点</p> <p>大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国 (国語)</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>公民(現社,倫,政経から1)</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>数 (数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1)</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理 (理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1)</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外 (英,独,仏,中,韓から1)</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">700点</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[6教科7科目]</p> <p>小論文 300点</p>	国 (国語)	100点	地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)	100点	公民(現社,倫,政経から1)	100点	数 (数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1)	200点	理 (理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1)	100点	外 (英,独,仏,中,韓から1)	100点	合計	700点
国 (国語)	100点														
地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)	100点														
公民(現社,倫,政経から1)	100点														
数 (数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1)	200点														
理 (理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1)	100点														
外 (英,独,仏,中,韓から1)	100点														
合計	700点														

実施学域・学類等名	人間社会学域 学校教育学類 数学教育専修														
募集人員	3人														
推薦要件	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき2名以内とします。</p>														
選抜方法等	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国 (国語)</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>公民(現社,倫,政経から1)</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>数 (数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1)</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理 (理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1)</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外 (英,独,仏,中,韓から1)</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">600点</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[5教科6科目]</p> <p>面接 400点</p>	国 (国語)	100点	地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)	100点	公民(現社,倫,政経から1)	100点	数 (数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1)	200点	理 (理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1)	100点	外 (英,独,仏,中,韓から1)	100点	合計	600点
国 (国語)	100点														
地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)	100点														
公民(現社,倫,政経から1)	100点														
数 (数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1)	200点														
理 (理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1)	100点														
外 (英,独,仏,中,韓から1)	100点														
合計	600点														

実施学域・学類等名	人間社会学域 学校教育学類 保健体育専修																											
募集人員	5人																											
推薦要件	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が、次のいずれにも該当すると認め、責任を持って推薦できる者</p> <p>(1) 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者</p> <p>(2) 高等学校若しくは中等教育学校において、スポーツ活動(ダンスを含む)に積極的に取り組み、優れた能力を持つ者で、かつ、入学後も活動を続ける意思のあるもの</p> <p>(3) 人物及び学業成績がともに優れ、本学類(保健体育専修)に対する明確な志向と勉学の熱意を持つ者</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき2名以内とします。</p>																											
選抜方法等	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接及びスポーツ活動実績書の結果を総合して行います。</p> <p>なお、調査書、推薦書、志願理由書は、判定の基礎資料とします。</p> <p>2. 配点</p> <table border="0"> <tr> <td>大学入試センター試験で課す教科・科目名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国 (国語)</td> <td></td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>地歴 (世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)</td> <td rowspan="2">} から1 又は2</td> <td rowspan="2">} から3</td> </tr> <tr> <td>公民 (現社,倫,政経から1)</td> </tr> <tr> <td>理 (理総A,理総B,物I,化I,生I,地学Iから1又は2)</td> <td></td> <td rowspan="2">} 300点</td> </tr> <tr> <td>数 (数I・数A)と (数II・数B,工,簿,情報から1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外 (英,独,仏,中,韓から1)</td> <td></td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>900点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>[5教科7科目]又は[6教科7科目]</td> </tr> <tr> <td>面接(スポーツ活動実績評価を含む)</td> <td></td> <td>500点</td> </tr> </table>	大学入試センター試験で課す教科・科目名			国 (国語)		200点	地歴 (世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)	} から1 又は2	} から3	公民 (現社,倫,政経から1)	理 (理総A,理総B,物I,化I,生I,地学Iから1又は2)		} 300点	数 (数I・数A)と (数II・数B,工,簿,情報から1)		外 (英,独,仏,中,韓から1)		200点	合計		900点			[5教科7科目]又は[6教科7科目]	面接(スポーツ活動実績評価を含む)		500点
大学入試センター試験で課す教科・科目名																												
国 (国語)		200点																										
地歴 (世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)	} から1 又は2	} から3																										
公民 (現社,倫,政経から1)																												
理 (理総A,理総B,物I,化I,生I,地学Iから1又は2)		} 300点																										
数 (数I・数A)と (数II・数B,工,簿,情報から1)																												
外 (英,独,仏,中,韓から1)		200点																										
合計		900点																										
		[5教科7科目]又は[6教科7科目]																										
面接(スポーツ活動実績評価を含む)		500点																										

実施学域・学類等名	人間社会学域 学校教育学類 家政教育専修																											
募集人員	2人																											
推薦要件	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成22年4月から平成23年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき2名以内とします。</p>																											
選抜方法等	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <table border="0"> <tr> <td>大学入試センター試験で課す教科・科目名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国 (国語)</td> <td></td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)</td> <td rowspan="2">} から1 又は2</td> <td rowspan="2">} から3</td> </tr> <tr> <td>公民(現社,倫,政経から1)</td> </tr> <tr> <td>理(理総A,理総B,物I,化I,生I,地学Iから1又は2)</td> <td></td> <td rowspan="2">} 300点</td> </tr> <tr> <td>数(数I・数A)と (数II・数B,工,簿,情報から1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外(英,独,仏,中,韓から1)</td> <td></td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>900点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>[5教科7科目]又は[6教科7科目]</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td></td> <td>300点</td> </tr> </table>	大学入試センター試験で課す教科・科目名			国 (国語)		200点	地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)	} から1 又は2	} から3	公民(現社,倫,政経から1)	理(理総A,理総B,物I,化I,生I,地学Iから1又は2)		} 300点	数(数I・数A)と (数II・数B,工,簿,情報から1)		外(英,独,仏,中,韓から1)		200点	合計		900点			[5教科7科目]又は[6教科7科目]	面接		300点
大学入試センター試験で課す教科・科目名																												
国 (国語)		200点																										
地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1)	} から1 又は2	} から3																										
公民(現社,倫,政経から1)																												
理(理総A,理総B,物I,化I,生I,地学Iから1又は2)		} 300点																										
数(数I・数A)と (数II・数B,工,簿,情報から1)																												
外(英,独,仏,中,韓から1)		200点																										
合計		900点																										
		[5教科7科目]又は[6教科7科目]																										
面接		300点																										

実施学域・学類等名	医薬保健学域 医学類(一般枠)
募集人員	20人
推薦要件	以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年3月に卒業見込みの者で、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階以上(評定平均4.3以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者
選抜方法等	1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等(調査書、志願理由書等)を総合して行います。 ただし、志願者数が募集人員に対して2倍程度を超えた場合には、大学入試センター試験の配点による成績の総得点により第1次選考を行うことがあります。その場合は、第1次選考合格者についてのみ第2次選考(口頭試問による面接)を実施します。 なお、本学類が課す大学入試センター試験(800点満点)の得点が概ね680点(85%)以上を合格の基準とします。 2. 配点 大学入試センター試験で課す教科・科目名 国(国語) 100点 地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1) 100点 公民(現社、倫、政経から1) } から1 数(数I・数A)と(数II・数B、工、簿、情報から1) 200点 理(物I)と(化I) 200点 外(英) 200点 合計 800点 [5教科7科目] 面接(口頭試問) 200点 3. 第1次選考結果は、平成23年2月2日(水)に本人あて通知します。

実施学域・学類等名	医薬保健学域 医学類(特別枠)
募集人員	石川県枠 10人 富山県枠 2人
推薦要件	以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年3月に卒業見込みの者で、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階以上(評定平均4.3以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者
選抜方法等	1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等(調査書、志願理由書等)を総合して行います。 ただし、志願者数が募集人員に対して3倍程度を超えた場合には、大学入試センター試験の配点による成績の総得点により第1次選考を行うことがあります。その場合は、第1次選考合格者についてのみ第2次選考(口頭試問による面接)を実施します。 なお、本学類が課す大学入試センター試験(800点満点)の得点が概ね680点(85%)以上を合格の基準とします。 2. 配点 大学入試センター試験で課す教科・科目名 国(国語) 100点 地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1) } から1 公民(現社、倫、政経から1) 数(数I・数A)と(数II・数B、工、簿、情報から1) 200点 理(物I)と(化I) 200点 外(英) 200点 合計 800点 [5教科7科目] 面接(口頭試問) 200点 3. 第1次選考結果は、平成23年2月2日(水)に本人あて通知します。
その他	※ 石川県枠について 1. 将来、石川県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的としています。 2. 出身高校の所在地に関わらず、石川県の地域医療に貢献する強い意思を持ち、石川県知事からの推薦があり、入学後は、石川県の修学資金の貸与を受ける者を対象とします。 また、卒業後は、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、石川県知事が貸与生ごとに指定する石川県内の医療機関において、7年間診療に従事することになります。 ※ 富山県枠について 1. 将来、富山県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的としています。 2. 出身高校の所在地に関わらず、富山県の地域医療に貢献する強い意思を持ち、富山県知事からの推薦があり、入学後は、富山県の修学資金の貸与を受ける者を対象とします。 また、卒業後は、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、富山県知事が貸与生ごとに指定する富山県内の医療機関において、地域医療に必要な

診療科(小児科, 産科, 麻酔科, 救急科, 総合診療科)で9年間診療に従事することになります。

特別枠(石川県, 富山県枠)で不合格であっても, 予め, 一般枠を第2志望としたものについては, 一般枠の選考対象とします。

なお, 石川県枠と富山県枠の併願は認められません。

(2) 出願期間

人間社会学域(法学類):平成23年1月18日(火)~平成23年1月21日(金)

人間社会学域(学校教育学類, 地域創造学類),

医薬保健学域(医学類):平成22年12月13日(月)~平成22年12月17日(金)

(3) 選抜期日

人間社会学域(法学類):平成23年2月5日(土)

人間社会学域(学校教育学類, 地域創造学類):平成23年1月29日(土)

医薬保健学域(医学類):第2次選考 平成23年2月7日(月)

(4) 合格者発表

人間社会学域(法学類):平成23年2月9日(水)

人間社会学域(学校教育学類, 地域創造学類):平成23年2月7日(月)

医薬保健学域(医学類):第2次選考 平成23年2月9日(水)

(5) その他

① 個別学力検査等の取り扱いについて

推薦入試に合格しなかった者のうち, 各学類が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で, 所要の手続きにより出願を行ったものに限り, 一般の入学志願者と同様に個別学力検査等を受けることができます。

② 大学入試センター試験について

ア 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は, 指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を採用します。

イ 数学のうち「工」, 「簿」, 「情報」を選択できる者は, 高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。

ウ 英語にはリスニングテストが含まれており, 成績は, 筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点となるように圧縮し, 他の外国語と比較できるようにして利用します。

なお, 英語のリスニングテストが免除となる重度難聴者については, 英語の筆記試験の成績(200点満点)を圧縮せずに利用します。

また, 入学者選抜の配点にあたっては, 学域学類等に示されているセンター試験の外国語の配点に換算します。

③ 原則として, 入学後の転学類・転専修等を認めません。

6

帰国子女入試

(1) 出願資格

日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により次のいずれかに該当するもの

- ① 外国の教育制度に基づく教育機関において12年の課程のうち、日本の高等学校に相当する学校に最終学年を含め2学年以上継続して在学し、平成21年4月から平成23年3月までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者
- ② 外国の教育制度に基づく教育機関において2学年以上継続して学校教育を受け、引き続き、日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の第3学年に編入学した者で平成23年3月までに卒業見込みのもの
- ③ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成21年4月から平成23年3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成23年3月31日までに18歳に達するもの
- ④ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成21年4月から平成23年3月までに取得した者及び取得見込みの者で平成23年3月31日までに18歳に達するもの
- ⑤ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成21年4月から平成23年3月までに取得した者及び取得見込みの者で平成23年3月31日までに18歳に達するもの

(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程における教育の期間は、外国の教育制度に基づく教育機関における教育の期間には含まれません。

(2) 入学者選抜方法等

帰国子女1

実施学域・学類名	人間社会学域 人文学類
募集人員	若干名
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 小論文—広く人間・社会・歴史・文化・言語に関する課題を示して論述させます。

帰国子女3

実施学域・学類名	人間社会学域 経済学類
募集人員	若干名
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 小論文—現代の文化・社会・経済に関する「小論文Ⅰ」(英文の資料を与え英和辞典を貸与します。)及び「小論文Ⅱ」を課し、いずれも出題された論題について、800字程度で論述させます。

帰国子女2

実施学域・学類名	人間社会学域 法学類
募集人員	若干名
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 小論文—広く社会・文化に関する課題を示して論述させます。

帰国子女4

実施学域・学類名	人間社会学域 地域創造学類
募集人員	若干名
選抜方法等	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 小論文—地域創造に関することを論述させます。

実施学域・学類名	人間社会学域 国際学類
募集人員	若干名
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 第1次選考 提出された書類の審査、小論文の成績 小論文—英語の文章を読ませ、それに関する問いに英語及び日本語で答えさせ、英語の知識とともに社会・文化についての知識や論理的思考力を見ます。 3. 第1次選考結果は、平成22年11月18日(木)に本人あて通知します。 4. 第2次選考 (1) 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。 (2) 第2次選考は、調査書、推薦書、志願理由書、面接の結果を総合して行います。なお、調査書は面接の参考とします。 5. 合否判定 第1次選考(100点満点)と第2次選考(100点満点)の結果を総合して行います。

実施学域・学類名	理工学域 機械工学類
募集人員	若干名
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C)理(物Ⅰ・物Ⅱ)外(英Ⅱ・リーディング・ライティング)

実施学域・学類名	理工学域 数物科学類
募集人員	若干名
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C)と面接の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。

実施学域・学類名	理工学域 電子情報学類
募集人員	若干名
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C)理(物Ⅰ・物Ⅱ)外(英Ⅱ・リーディング・ライティング)

実施学域・学類名	理工学域 物質化学類
募集人員	若干名
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C)理(化Ⅰ・化Ⅱ)外(英Ⅱ・リーディング・ライティング)

実施学域・学類名	理工学域 環境デザイン学類
募集人員	若干名
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C)理(物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱから1)外(英Ⅱ・リーディング・ライティング)

実施学域・学類名	理工学域 自然システム学類
募集人員	若干名
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C)理(物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱ, 生Ⅰ・生Ⅱ, 地学Ⅰ・地学Ⅱから1)外(英Ⅱ・リーディング・ライティング)

実施学域・学類名	医薬保健学域 薬学類・創薬科学類
募集人員	若干名
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程), 面接の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C)理(物Ⅰ・物Ⅱ)と(化Ⅰ・化Ⅱ)外(英Ⅱ・リーディング・ライティング)
その他	◎薬学類(6年制), 創薬科学類(4年制)の選抜は一括で実施します。各学類への所属は3年次後期からとなります。

実施学域・学類名	医薬保健学域 医学類
募集人員	若干名
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程), 面接の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C)理(物Ⅰ・物Ⅱ)と(化Ⅰ・化Ⅱ)外(英Ⅱ・リーディング・ライティング)

実施学域・学類名	医薬保健学域 保健学類(看護学専攻, 放射線技術科学専攻, 検査技術科学専攻, 理学療法学専攻, 作業療法学専攻)
募集人員	若干名
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名理(物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱ, 生Ⅰ・生Ⅱから1)外(英Ⅱ・リーディング・ライティング)

(3) 出願期間

人間社会学域(経済学類, 国際学類): 平成22年11月1日(月)~平成22年11月5日(金)

人間社会学域(人文学類, 法学類, 地域創造学類), 理工学域, 医薬保健学域: 平成23年1月18日(火)~平成23年1月21日(金)

(4) 選抜期日

人間社会学域(国際学類): 第1次選考 平成22年11月13日(土)

第2次選考 平成22年11月27日(土)

人間社会学域(経済学類): 小論文 平成22年11月27日(土)

面接 平成22年11月28日(日)

人間社会学域(人文学類, 地域創造学類), 理工学域, 医薬保健学域(保健学類): 平成23年2月25日(金)

医薬保健学域(医学類, 薬学類・創薬科学類): 平成23年2月25日(金)~平成23年2月26日(土)

人間社会学域(法学類): 平成23年3月12日(土)

(5) 合格者発表

人間社会学域(経済学類, 国際学類): 平成22年12月8日(水)

人間社会学域(人文学類, 地域創造学類), 理工学域, 医薬保健学域: 平成23年3月8日(火)

人間社会学域(法学類): 平成23年3月22日(火)

(6) その他

個別学力検査等の取り扱いについて

帰国子女入試人間社会学域(経済学類, 国際学類)に合格しなかった者のうち, 各学類が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で, 所要の手続きにより再出願を行ったものに限る, 一般の入学志願者と同様に個別学力検査等を受けることができます。

7 アドミッション・オフィス入試 (AO 入試)

(1) 出願資格, 選抜方法等

AO 1

AO 2

実施学域・学類等名	理工学域 機械工学類 人間機械コース エネルギー環境コース
募集人員	各コース3人
出願資格	次の1から4のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者で、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成23年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成23年3月31日までに18歳に達するもの
選抜方法等	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 大学入試センター試験で本学類が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となります。 2. 第1次選考 提出された調査書、自己推薦書、その他の書類により、書類選考を行います。 3. 第1次選考結果は、平成22年10月8日(金)に本人あて通知します。 4. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、2日間にわたるスクーリング、大学入試センター試験の結果及び提出された書類を総合的に評価して選考します。 ①スクーリング 1日目:[人間機械コース] 製作又は実験課題等を課して、レポートを提出させます。 [エネルギー環境コース] 模擬講義を行い、その内容に関するレポートを提出させます。 2日目:第1日目に提出されたレポートについての試問を行い、目的意識、勉学意欲等に関して個人面接形式で評価します。 5. 配点 [人間機械コース] 1日目の課題遂行状況、レポート内容 200点 面接(調査書、自己推薦書等の提出書類を含む) 50点 大学入試センター試験 250点 [エネルギー環境コース] レポート内容 200点 面接(調査書、自己推薦書等の提出書類を含む) 50点 大学入試センター試験 250点 大学入試センター試験で課す教科・科目名 数(数Ⅰ・数A)と (数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1) 100点 理(物Ⅰ, 化Ⅰから1) 50点 外(英) 100点 合計 250点 [3教科4科目]
その他	◎個別学力検査等の取り扱いについて AO入試に合格しなかった者のうち、本学類が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で、所要の手続きにより再出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同等に個別学力検査等を受けることができます。 ◎原則として、入学後の転学類・転コースを認めません。

実施学域・学類等名	理工学域 電子情報学類 生命情報コース
募集人員	4人
出願資格	次の1から4のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者で、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成23年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成23年3月31日までに18歳に達するもの
選抜方法等	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 大学入試センター試験で本学類が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となります。 2. 第1次選考 提出された調査書、自己推薦書、その他の書類により、書類選考を行います。 3. 第1次選考結果は、平成22年10月8日(金)に本人あて通知します。 4. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、2日間にわたるスクーリング、大学入試センター試験の結果及び提出された書類を総合的に評価して選考します。 ①スクーリング 1日目:自然科学のテーマについての模擬講義を行い、その内容に関するレポートを提出させます。 2日目:第1日目に提出されたレポートについての試問を行い、目的意識、勉学意欲等に関して個人面接形式で評価します。 5. 配点 レポート及びレポートについての試問 150点 面接(調査書、自己推薦書等の提出書類を含む) 100点 大学入試センター試験 200点 大学入試センター試験で課す教科・科目名 数(数Ⅰ・数A)と (数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1) 100点 理(物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰから1) 50点 外(英) 50点 合計 200点 [3教科4科目]
その他	◎個別学力検査等の取り扱いについて AO入試に合格しなかった者のうち、本学類が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で、所要の手続きにより再出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同等に個別学力検査等を受けることができます。 ◎原則として、入学後の転学類・転コースを認めません。

(注) 大学入試センター試験について

- 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲内で高得点の順に成績を採用します。
- 数学のうち「工」、「簿」、「情報」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修したものに限ります。
- 英語は筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を50点満点に換算します。なお、リスニングテストが免除となる重度難聴者については、英語の筆記試験の成績(200点満点)を50点満点に換算して利用します。

(注) 大学入試センター試験について

- 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲内で高得点の順に成績を採用します。
- 数学のうち「工」、「簿」、「情報」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修したものに限ります。
- 英語は筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を100点満点に換算します。なお、リスニングテストが免除となる重度難聴者については、英語の筆記試験の成績(200点満点)を100点満点に換算して利用します。

実施学域・学類等名	医薬保健学域 薬学類・創薬科学類
募集人員	15人
出願資格	次の1から4のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者で、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成23年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成23年3月31日までに18歳に達するもの
選抜方法等	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 大学入試センター試験で本学類が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となります。 2. 第1次選考 提出された調査書、自己推薦書、その他の書類により、書類選考を行います。 3. 第1次選考結果は、平成22年10月8日(金)に本人あて通知します。 4. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、2日間にわたるスクーリングならびに大学入試センター試験により選考します。本学類が課す大学入試センター試験(800点満点)の得点が概ね640点(80%)以上を合格の基準とし、レポートと口述試験の得点の高い者を合格者とし、 ①スクーリング 1日目：受講した演習実験又は課された実験課題などについて、レポートを作成させ、提出させます。 2日目：1日目に提出されたレポートに基づいて、口述試験を実施します。数学・理科・英語などに対する勉学意欲ならびに目的意識について多方面から評価します。 ②大学入試センター試験 本学類が課す教科・科目を必ず受験してください。 大学入試センター試験で課す教科・科目名 国(国語) 100点 地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1) } から1 100点 公民(現社, 倫, 政経から1) 数(数I・数A)と } (数II・数B, 工, 簿, 情報から1) 200点 理(物I)と(化I) 200点 外(英, 独, 仏, 中, 韓から1) 200点 合計 800点 [5教科7科目] 5. 配点 レポート 100点 口述試験 50点

その他	◎薬学類(6年制)と創薬科学類(4年制)の選抜は一括で実施します。各学類への所属は3年次後期からとなります。 ◎個別学力検査等の取り扱いについて AO入試に合格しなかった者のうち、本学類が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で、所要の手続きにより出願を行ったものに限る、一般の入学志願者と同様に個別学力検査等を受けることができます。 ◎原則として、入学後の転学類を認めません。
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(注)大学入試センター試験について

- 指定した教科・科目数を超過して受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を採用します。
- 数学の「工」「簿」「情報」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目を履修したものに限ります。
- 英語にはリスニングテストが含まれており、成績は筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点となるように圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用します。なお、リスニングテストが免除となる重度難聴者については、英語の筆記試験の成績(200点満点)を圧縮せずに利用します。

(2) 出願期間

平成22年9月6日(月)～平成22年9月10日(金)

(3) 選抜期日

最終選考：平成22年11月13日(土)～平成22年11月14日(日)

(4) 合格者発表

平成23年2月7日(月)

8 私費外国人留学生入試

(1) 募集人員

各学域学類とも若干名

(2) 出願資格

日本の国籍を有しない者で、次の各号に該当するもの

① 次のいずれかに該当する者

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成23年（2011年）3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成23年（2011年）3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成23年（2011年）3月31日までに18歳に達するもの
- ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成23年（2011年）3月までに取得した者及び取得見込みの者で平成23年（2011年）3月31日までに18歳に達するもの
- エ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成23年（2011年）3月までに取得した者及び取得見込みの者で平成23年（2011年）3月31日までに18歳に達するもの

② 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成21年度（2009年度）又は平成22年度（2010年度）日本留学試験を受験した者（薬学類及び創薬科学類を除きます。）

③ 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者

(3) 入学者選抜方法等

① 大学入試センター試験を免除し、平成21年度（2009年度）又は平成22年度（2010年度）日本留学試験（薬学類及び創薬科学類を除く）、学力検査等の成績及び書類審査の結果を総合して日本人とは異なる基準により選抜します。

学力検査等の科目は、次ページのとおりです。

志望する学域学類等が課す日本留学試験及び個別学力検査等をすべて受験しなければ失格となります。

② 出願期日等の詳細は、平成23年度金沢大学学生募集要項（推薦入試、帰国子女入試、私費外国人留学生入試）を参照してください。

学域・学類等名	日本留学試験の利用する教科・科目等						英語能力	学力検査等			
	日本語	総合科目	数学	理 科					出題言語	利用試験 (注2参照)	
				物理	化学	生物					
人間社会学域	人文学類						日本語 又は 英語	小論文又は面接 の中で英語能力を問 う場合があります。	小論文と面接		
	法学類	◎	◎	◎ コース1又は コース2より 選択			日本語		TOEFL	国語(国表Ⅰ・国表Ⅱ・国総)の内 の現代文 面接	
	経済学類									小論文と面接	
	学校教育学類	◎	◎	◎ コース1又は コース2より 選択 又は ◎ コース1又は コース2より 選択	◎	◎	◎	日本語 又は 英語	6月 又は 11月	学力検査等で外国語を課す。(英 Ⅱ・リーディング・ ライティング) 国語(国表Ⅰ・国表Ⅱ・国総) 数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 理科(物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱ, 生Ⅰ・生Ⅱ, 地学Ⅰ・ 地学Ⅱから1) 外国語(英Ⅱ・リーディング・ ライティング) 面接	から1
	地域創造学類										2科目選択
	国際学類	◎	◎	◎ コース1又は コース2より 選択				日本語	TOEFL	小論文と面接	
理工学域	数物科学類	◎		◎ コース2	◎			日本語 又は 英語	6月 又は 11月	TOEFL	面接
	物質化学類										
	機械工学類	◎		◎ コース2	◎	◎					
	電子情報学類										
	環境デザイン学類										
	自然システム学類	◎		◎ コース2	◎	◎	◎				
医薬保健学域	医学類	◎		◎ コース2	◎	◎	◎	日本語	6月 又は 11月	TOEFL	数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C) 理科(物Ⅰ・物Ⅱ)と(化Ⅰ・化Ⅱ) 面接
	薬学類 創薬科学類			課さない							数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C) 理科(物Ⅰ・物Ⅱ)と(化Ⅰ・化Ⅱ) 外国語(英Ⅱ・リーディング・ ライティング) 面接
	保健学類	◎		◎ コース2	◎	◎	◎	日本語	6月 又は 11月		小論文と面接

- (注) 1. ◎は必修科目, ○は選択科目を示します。
2. 日本留学試験は, 平成21年度(2009年度)又は平成22年度(2010年度)の6月及び11月のいずれか1回の成績を利用します。
3. 医薬保健学域の薬学類(6年制)と創薬科学類(4年制)の選抜は一括で実施します。各学類への所属は3年次後期からとなります。

9 障害のある者等の出願

本学に入学を志願する者で、障害等があり、受験及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本学に事前相談書等を提出し、相談してください。

なお、体幹及び両上下肢の機能障害が著しく、本学の個別学力検査において、「代筆解答」を必要とする者は、下記の期限にかかわらず大学入試センター試験出願以前のできるだけ早い時期に本学へ相談してください。

(1) 相談締切日

AO入試	平成22年 8月20日 (金)
推薦入試, 帰国子女入試, 私費外国人留学生入試	平成22年10月18日 (月)
一般入試	平成23年 1月19日 (水)

(2) 提出書類

① 事前相談書(次の事項及び連絡先について記載したもの。様式は問いません。)

- ア 志望学域学類等
- イ 障害の種類・程度
- ウ 受験及び修学について配慮を希望する事項
- エ 高等学校若しくは中等教育学校等でとられていた配慮
- オ 日常生活の状況
- カ その他参考となる事項

② 医師の診断書

③ 大学入試センター試験の受験特別措置決定通知書の写し(大学入試センター試験を受験した者で、特別措置を認められた者のみ)

④ その他参考書類(障害者手帳の写し等)

(3) 相談先

金沢大学学生部入試課入学試験係

住 所 〒920-1192 金沢市角間町
電 話 076-264-5169,5177~5179 (平日午前9時から午後5時まで)
F A X 076-234-4042
E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

10 学生募集要項の請求方法等

1 学生募集要項の請求方法

(1) 大学のホームページからテレメールによる資料請求をする場合

大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。

詳しくは、金沢大学入試情報ホームページ

(<http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/gakubu/gsiryo11.html>) をご覧ください。

(2) テレメールで請求する場合(インターネット, 電話)

① インターネット(携帯電話・パソコン)又は電話をご利用ください。



インターネット(携帯電話・パソコン)の場合		電話の場合	
http://telemail.jp 携帯電話, パソコンとも共通アドレスです。		IP 電話	050-8601-0101 (一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。)
QRコード ※対応する携帯電話で読み取れます。			

② 資料請求番号（6桁）を入力又はプッシュしてください。

資料名	資料請求番号	送料
大学案内	563022	390円
入学者選抜要項	583022	240円
入学者選抜要項+大学案内	563002	580円
一般入試学生募集要項	583002	240円
一般入試学生募集要項+大学案内	543002	580円
推薦入試, 帰国子女入試, 私費外国人留学生入試 学生募集要項	583012	390円
推薦入試, 帰国子女入試, 私費外国人留学生入試 学生募集要項+大学案内	543012	580円
A O入試学生募集要項	583032	200円
A O入試学生募集要項+大学案内	543022	580円

③ あとはガイダンスに従って登録してください。

※ 受付から2, 3日程度で発送されます。ただし, 発送開始日までのご請求は予約受付となり, 発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は, 発送開始日から2~3日程度で資料が届きます。

※ 送料は, お届けした資料に同封されている支払方法に従いお支払いください。(支払に際して手数料が別途必要になります。)

※ 電話によるご請求の場合, 住所, 名前の登録時は, ゆっくりはっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は到着まで時間がかかる場合があります。

(3) 郵便局で請求する場合（10月より案内開始）（一般入試）

郵便局に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程, 大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要事項を記入の上, 送料と払込手数料120円を添えて, 最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で申込んでください。受付から1週間程度で送付されます。なお, 請求申込書は9月以降, 高等学校で入手できる場合もあります。

→ (1), (2), (3) の請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター TEL 050 - 8601 - 0102（午前9時30分から午後6時まで）

(4) 大学へ直接請求する場合

郵送を希望する場合は, 受信者の郵便番号, 住所, 氏名を明記し郵便切手を貼付した返信用封筒（角形2号約33cm×約24cm）を同封の上, 封筒の表に「〇〇請求」と朱書きし, 請求してください。(郵送を希望する資料名及び送料（郵便切手）は上記(2)~②を参照してください。)

2 学生募集要項の発表・配付予定時期

募集要項名	発表予定	配付予定
一般入試	平成22年10月下旬	平成22年11月上旬
推薦入試	平成22年9月中旬	平成22年9月下旬
帰国子女入試		
私費外国人留学生入試		
A O入試	平成22年6月下旬	平成22年7月上旬

3 問い合わせ先

(1) 入学試験関係

学生部入試課入学試験係 〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-264-5169,5177~5179（平日午前9時から午後5時まで）

F A X 076-234-4042

E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

(2) 修学関係

入学後の授業あるいは学生生活に関する問い合わせは、下記の問い合わせ先に行ってください。

※ 金沢大学携帯サイト

オープンキャンパス情報、各種入試情報などを携帯電話から閲覧できます。

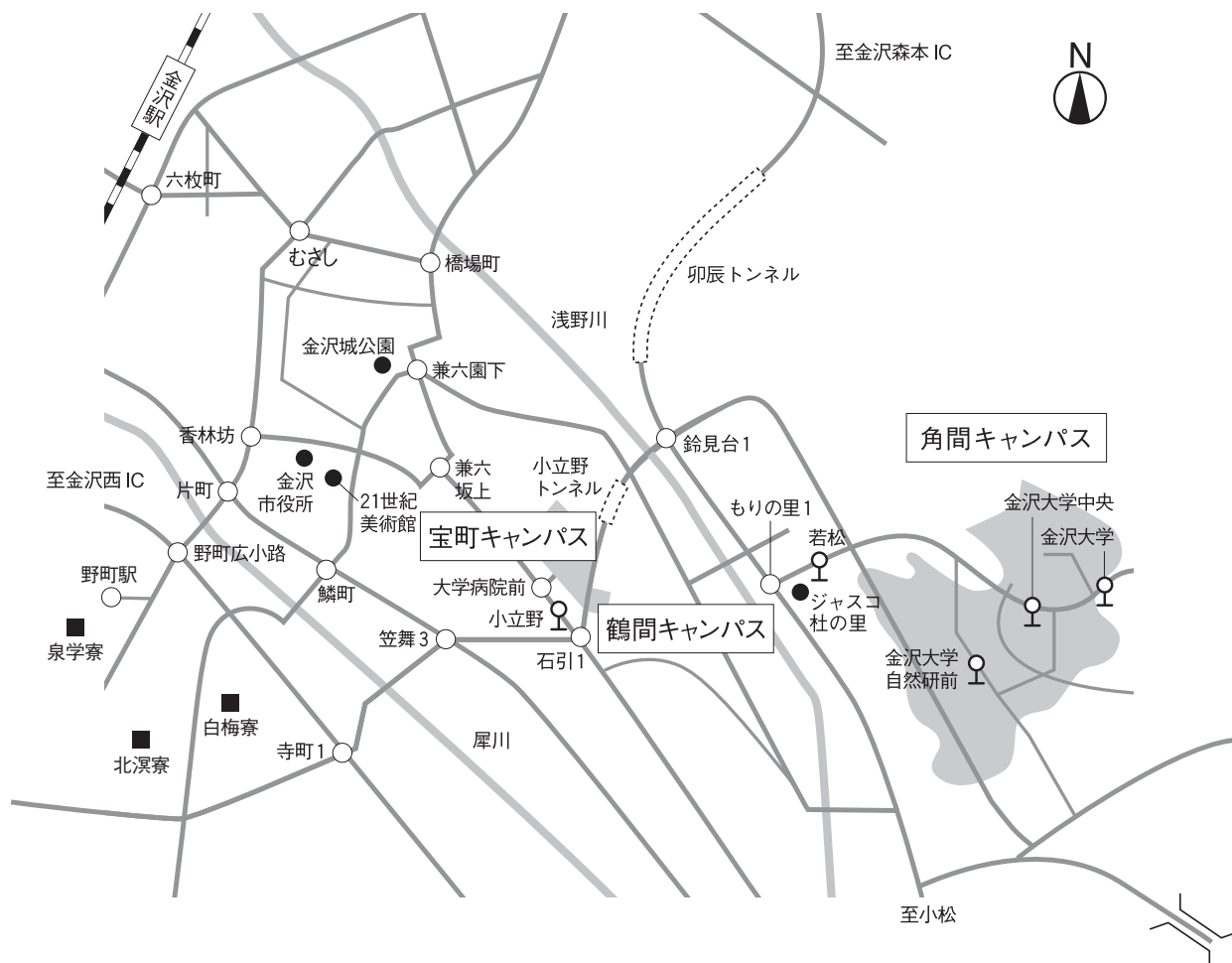
以下のQRコードにアクセスしてください。



<http://daigakuje.jp/kanazawa-u/>

志望学域・学類		問い合わせ先		
人間社会学域	人文学類	角間北地区事務部 学生課学務第一係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-264-5601
	法学類	角間北地区事務部 学生課学務第二係		電話 076-264-5456 5466
	経済学類	角間北地区事務部 学生課学務第三係		電話 076-264-5457 5458
	学校教育学類	角間北地区事務部 学生課学務第四係		電話 076-264-5603
	地域創造学類			
	国際学類	角間北地区事務部 学生課学務第一係		電話 076-264-5455
理工学域	数物科学類	角間南地区事務部 学生課学務第一係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-264-5630
	物質化学類			
	機械工学類	角間南地区事務部 学生課学務第二係		電話 076-234-6831
	電子情報学類			
	環境デザイン学類			
	自然システム学類			
医薬保健学域	医学類	宝町地区事務部 学生課医学学務係	〒920-8640 金沢市宝町13番1号	電話 076-265-2125 ~2127
	薬学類	宝町地区事務部 薬学・がん研究所 事務室薬学学務係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-234-6827 6828
	創薬科学類			
	保健学類	宝町地区事務部 学生課保健学務係	〒920-0942 金沢市小立野5丁目11番80号	電話 076-265-2514 ~2517

4 金沢大学所在地略図



キャンパス名		学域等	交通機関
①	角間	事務局（学生部） 理工学域 医薬保健学域（薬学類・創薬科学類）	JR金沢駅東口バスターミナルから北陸鉄道バス 「金沢大学」行き乗車 「金沢大学自然研前」下車 (JR金沢駅から約35分)
		人間社会学域	JR金沢駅東口バスターミナルから北陸鉄道バス 「金沢大学」行き乗車 「金沢大学」終点下車 (JR金沢駅から約40分)
②	宝町	医薬保健学域 (医学類)	JR金沢駅東口又は西口バスターミナルから北陸鉄道バス 「湯涌温泉」「東部車庫（橋場町経由）」「北陸大学」「金沢学院大学 (橋場町経由)」行きのいずれかに乗車
③	鶴間	医薬保健学域 (保健学類)	「小立野」又は「大学病院前」下車 (JR金沢駅から約20分)

(注) 乗り場のあるバスターミナルを事前に確認した上で、利用してください。



KANAZAWA UNIVERSITY

この要項を希望される方は、以下のQRコードにアクセスしてください。



金沢大学学生部入試課入学試験係

〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5169,5177~5179
URL <http://www.kanazawa-u.ac.jp>

